

# 海外自治体幹部交流協力セミナー2023（シドニー事務所管内） 事業概要

## 1 テーマ

小規模自治体の持続可能なまちづくり

## 2 海外参加者数：5名

Mathew Dickerson マシュー ディッカーソン 団長
オーストラリア、ダッポー地域カウンスル、市長
Jaysen De San Miguel ジェイセン デ サン ミゲル
オーストラリア、バンバリー市、市長
Deli Connell デリ コネル
ニュージーランド、テムズ コロマンデル行政区、市議員
Peter Scott ピーター スコット
オーストラリア、エア半島自治体連合、CEO
Steve May スティーブ メイ
ニュージーランド、マスタートン行政区、CEO

## 3 日程〔2023年12月3日（日）～9日（土）〕

月日	予定	宿泊地
12/3(日)	・参加者来日、オリエンテーション	東京都
12/4(月)	・東京セミナー（日本の地方自治講義、都内施設視察） ・クレア主催歓迎レセプション	東京都
12/5(火)	・受入団体（佐賀県江北町）へ移動 ・地方交流事業（江北町長表敬、概要説明、町内施設視察） ・江北町主催歓迎夕食会	江北町
12/6(水)	・地方交流事業（視察）	江北町
12/7(木)	・地方交流事業（視察） ・帰国前夕食会	江北町
12/8(金)	・東京都へ移動 ・自由行動	東京都
12/9(土)	・参加者帰国	—

## 4 実施内容

### 《東京セミナー：12月4日（月）》

#### （1）日本の地方自治に関する講義（明治大学教授 木村俊介）

佐賀県江北町訪問前に、参加者の日本の地方自治に関する理解促進を図るため、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科の木村俊介教授による講義を開催した。木村教授から地方自治体の基本構造や役割について、日本とオーストラリア・ニュージーランドを比較しながら説明していただいたことで、日本の地方自治体を取り巻く現状について理解を深めた。



#### （2）小石川後樂園

特別史跡、特別名勝として国の文化財に指定されている小石川後樂園を訪問した。色とりどりの紅葉がピークを迎える中、参加者はたくさんの写真を取りながら、大名庭園の現存する最古の落ち着いた雰囲気を楽しむ、ゆっくりと散策した。



#### （3）元祖食品サンプル屋

続いて、浅草に店舗を構える「元祖食品サンプル屋」を訪れ、日本の文化体験として食品サンプル製作に挑戦した。昔ながらの蠟（ろう）を使った技法で天ぷら二品（エビ・ナス・カボチャ・シイタケ他から選択）とレタス一個を製作。参加者からは、「実践的な異文化体験で楽しかった」などの声があった。



#### （4）浅草寺及び浅草周辺

元祖食品サンプル屋を後にした参加者は、包丁や食器などのキッチン用品で有名な河童橋通りを通り、浅草寺に向かった。浅草寺では、「雷門」をはじめ、日本の文化が詰まったお土産が並ぶ「仲見世通り」などをめぐり、日本の歴史と文化について理解を深めた。

#### （5）CLAIR 主催歓迎夕食会

CLAIR が主催する歓迎夕食会を開催し、参加者5名のほか、クレアから常務理事、クレアシドニー事務所赴任予定者等が参加した。参加者の出身自治体やセミナーテーマなどに関し、忌憚のない意見交換を行い、親睦を深める良い機会となった。

## 《佐賀県江北町セミナー：12月5日（火）～12月8日（金）》

### （1）江北町長表敬訪問

江北町の受入について謝意を伝えるため、山田町長へ表敬訪問を行った。山田町長による参加者への温かな歓迎の言葉や江北町とオーストラリアの交流の取り組みの話題で盛り上がるなど、終始和やかな雰囲気の中、表敬訪問となった。



### （2）江北町政策概要説明

先ず、参加者に対して山田町長が自ら英語で江北町の紹介、日本の現状と課題、そして自然災害、公共交通、廃棄物処理といった江北町の現状と課題を紹介した。参加者は、特に「自然災害対策」や「廃棄物やごみ処理の取組み・ごみの分別」に対して関心を持ち、活発な質疑応答が行われた。



### （3）江北町主催歓迎夕食会

江北町が主催する歓迎夕食会が武雄温泉の宿で開催された。同日実施された事業説明に関する事項を中心として、幅広く質問が出る一方で、山田町長をはじめ、江北町役職員とも和やかに歓談するなど、親睦を深めた。

### （4）佐賀西部クリーンセンター（伊万里市）の視察

江北町の初めての視察先として、佐賀西部クリーンセンターを訪問した。佐賀県が策定した「ごみ処理広域化計画」に基づき、佐賀県西部に位置する4市5町から成る佐賀県西部広域環境組合が新たに建設した一般廃棄物処理施設（平成27年12月25日完成）であり、平成27年度より廃棄物処理を実施している。

担当者から概要説明を受けたあと、実際に上記施設を視察し、ごみ焼却時に生じる熱を利用し高効率発電を生み出す取り組みなど施設の仕組みについての説明があった。



### （5）役場ごみステーション（江北町）の視察

佐賀西部クリーニングセンターに続き、江北町役場の周りに設置されているごみステーションを視察し、町民生活課の職員から説明を受けた。江北町では、16種類にゴミを分別しており、収集日以外の日でも役場のごみステーションに資源物（ペットボトルなど）の持ち込みができる。参加者からは「日本の家庭がごみの分別制度をしっかりと守っていることに感心した」との意見等があった。



#### (6) 有限会社 土井商会 (江北町)

佐賀県江北町において一般家庭から排出される燃えるゴミ、燃えないゴミを町内のごみステーションから回収・運搬している一般廃棄物収集運搬業者。「一般家庭から排出されるものの中から状態の良いものを販売・提供することについて検討の余地はあるか。」、などの機知に富んだ質問があり、テーマに対しての高い関心が伺えた。



#### (7) みんなの公園 (江北町)

江北町に令和元年 11 月に開園した「みんなの公園」は、広い芝生が特徴的な公園。マルシェやワークショップなど多彩なイベントが開催され、色々な交流の拠点となっている。また、交流棟にはカフェを併設しており、ランチやコーヒーを楽しむこともできる。美味しいコーヒーをいただきながら、担当職員による概要説明及び今後の活用についてプレゼンテーションを受けたあと、質疑応答が行われた。



#### (8) 株式会社 イワフチ

佐賀県江北町において、紙、鉄、プラスチック、ペットボトル、発砲スチロール、トレイなど、再生可能な原料を集荷し、再生処理を行っている事業者。敷地内を案内していただきながら、各原料の再生処理過程について説明を受けた。



#### (9) CLUB RIO (江北町)

江北町視察初日の最後の視察先として、人と馬の居場所として活動する CLUB RIO を訪問した。CLUB RIO は、引退競走馬のセカンドライフを豊かに過ごすことを目的とした取り組みを行っている。また、地元の神社である天子社（てんししゃ）で 144 年ぶりに流鏝馬を復活させるなど、地域を盛り上げる活動も行われている。参加者は目前で流鏝馬の披露を観賞した後、CLUB RIO の取り組みや理念などについて説明を受けた。



### (10) 鳴江排水機場 (江北町)

町内には、町営、国営合わせて計6か所、ポンプ23台、トータル能力40m<sup>3</sup>/秒の排水機場が設置されている。大雨時には、有明海の潮汐の影響や低平地という地理の特性から自然排水が効かない時間帯があるため、ポンプによる強制排水を行っている。周辺の河川状況、自然災害の被害及びポンプの仕様や仕組みについて説明を受けた。参加者からは「作動権利を近くの土地の農家に譲っているところに感心した」、「江北町の町民の強い絆を感じる」などの声が上がった。



### (11) 山下牛舎 (江北町)

山下牛舎では江北町と隣町の白石町で和牛約300頭を有している。牛のストレスをできるだけ少なくした環境で、愛情をこめて育てている。肥育から精肉の販売までを一貫して行っている。オーストラリア出身の参加者からは「母国では膨大な土地を使って家畜を飼育するが、街中で飼育する工夫が興味深い」などのコメントがあった。



### (12) 花祭いちごの谷 (江北町)

観光農園「花祭いちごの谷」では、自然豊かな里山の中でいちご狩り体験ができる。参加者は化学肥料をできるだけ減らしたいちご栽培へのこだわりに触れ、江北町の特産品の一つであるいちごを楽しんだ。



### (13) 土地利用型農業 (麦作付) 外 (江北町)

江北町は、比較的温暖な気候や土壌などの恵まれた環境のもと、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業を展開している。参加者はドローン・自動操舵等のスマート農業の普及など近年の取り組みについて理解を深めた。



### (14) 江北町園芸団地 (江北町)

江北町には、園芸農業の担い手確保、育成及び園芸生産の拡大を図ることを目的に、園芸団地が整備されている。

今回の視察では、令和3年度から新規就農したトマト農家、昭和50年頃から栽培をはじめた菊農家を視察し、参加者は日本の農業の課題と解決に向けた取り組み等について理解を深めた。



### (15) 意見交換会（江北町役場 議場）

地方交流事業の総括のため、山田町長をはじめ、事業所管の江北町幹部に参加いただき、江北町役場にて参加者の視察結果について江北町と意見交換を行った。

参加者からは、「江北町のごみ処理過程や、家庭内でゴミ分別を促す色分けの袋は非常に参考になった」、「自然災害対策にしっかり取り組み、ポンプシステムやその他の政策に予算配分をしている点が印象的だった」、「才能ある若者に町に留まってもらう取り組みについては共感できた」との意見等があった。



### (16) 帰国前夕食会

帰国前食会を江北町内の飲食店で開催した。

江北町滞在の最終日ということもあり、視察に関すること以外にもお互いの文化等について交流するなど、和やかな雰囲気のもとで地方交流事業が締めくくられた。

以上